

2024（令和6）年度 事業報告書

社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会

統一ミッション

「私たちは、すべての人一人ひとりの人権と意思を尊重し、障害のある人もない人も共に社会・経済・文化ほかあらゆる分野に参加する機会を得て、主体性を持ちながら豊かな市民生活を送ることができる社会の実現を目指します。」

1. 全体状況

令和6年度の障害福祉サービス等報酬改定では、障害者が希望する地域生活の実現、多様なニーズに答える専門性・体制の評価、支援時間・内容を勘案した評価、そして障害者虐待防止措置や身体拘束の適正化などが主なポイントとしてあげられる。

事業運営状況を見ると、サービス全体として総費用、利用者数、利用者一人当たりの費用額、事業所一カ所当たりの費用額のいずれも増加傾向を示している。例えば、施設入所支援では、利用者数、事業所数は減少傾向である一方、一人当たり費用額、事業所一カ所当たり費用額は増加しており、拡充された強度行動障害にかかる加算の影響によるものと考えられる。

処遇改善については、処遇改善加算の一本化へ指針が示され、当法人においても対応が進められてきた。採用時の基本給とその後の処遇改善加算を原資とする昇給分を基本給Ⅱとして明確化。合わせて、実績加算手当を創設し次年度より支給を開始する。また、東京都単独の処遇改善として128億円が予算措置された障害福祉サービス等職員住居支援特別手当が対象職員へ支給開始されることとなった。

東京都福祉局関係では、令和5年度までの3か年プランの達成率は、日中活動の場の整備87.8%、地域居住の場（グループホーム）の整備120%、在宅サービスの充実（短期入所）66.8%となった。令和6年度より新たな障害者・障害児地域生活支援3か年プランが開始されたが、新たに目標数値が示された重度障害者に対するサービス量の確保、また、児童発達支援センター等を区市町村に少なくとも一か所以上設置する計画について経過を見守っていく。

教育庁においては都立学校教育部予算が218億9,500万円で前年度より3,1

0.9億円増額となった。インクルーシブ教育の更なる推進の実効性を高めるため、重点地区を指定し、公立小・中学校等における特別支援教育の充実を図るなどインクルーシブ教育システム体制の整備等が継続して進められている。

東京都特別支援推進計画（第二期）第二次実施計画に基づき特別支援学校はもとよりすべての学校における特別支援教育の内容充実を図るための研究・開発およびデジタル機器を活用した教育の充実が継続されている。

事業運営面においては、指定管理の更新時期を迎えた世田谷区立5事業所（奥沢福祉園、給田福祉園、桜上水福祉園、砧工房、障害者就労支援センターすきっぷ）、新宿区立高田馬場福祉作業所、練馬区5事業所（貫井福祉園、貫井福祉工房、谷原フレンド、谷原あおぞら学童クラブ、大泉障害者地域生活支援センターさくら）、中野区立かみさぎこぶし園が次期の運営計画を各実施機関に提案し、引き続き令和7年度以降の運営を行うこととなった。

また、地域生活支援センター関係のグループホームにおいては、引き続き重度高齢化に対応する支援体制の整備とバックアップ体制の強化と運営の安定化を目的として、3つのユニット（GH）の整備と6つのユニットの廃止が行われた。

旧石神井町福祉園用地を利用した多機能型地域生活支援拠点の整備事業は、令和7年度末での完成を目指して3月に工事が着工された。また、豊島通勤寮は令和7年7月に整備を完了し8月より新施設での運営を開始する予定である。

地域法人協議会では、令和6年11月に北海道札幌市において参集型で全国手をつなぐ事業所協議会全国研修大会を実施した。

本人部会では、新型コロナウイルス感染症対策に留意して活動の範囲を広げている。

法人本部においては、理事、幹事、親の会役員が参加し「親の会についてともに考える」というテーマでワークショップを12月に開催し、ロードマップにあらたなアクションプランを追記した。

2. 基本方針

—すべての人が安心して暮らせる21世紀の共生社会を実現する—

- (1) 障害のある人一人ひとりの人権と意思を尊重し、主体性を持って生活や活動をし
ながら社会・経済・文化ほかあらゆる分野へ参加できるよう支援する。

（権利擁護と社会参加）

- (2) 東京都をはじめとした関係行政機関・関係団体等と協力し、東京都における障害
者施策を推進するとともに、必要とされる居住の場やサービスを積極的に整備す
る。

（施策推進と社会資源の整備）

- (3) 法人の持てる資源と関係するネットワークを活用し地域社会に貢献する。

(地域貢献)

上記、(1) から (3) までを運営基本として据え、その具体化を図り事業を展開した。

3. 重点目標

(1) 権利擁護の推進と体制の整備 (親の会、事業体)

(結果) 6. 東京都手をつなぐ親の会活動 7. 地域法人協議会活動 他

(2) 東京都育成会の中長期計画の策定 (親の会、事業体)

(結果) 5. 運営体制 (1 1) 会議その 2 (中長期計画策定他)

(3) 各種課題に対する対応 (親の会、事業体)

・事業所移転、新規開設に向けた着実な準備推進

(結果) 4. 事業運営 (2) 今年度開設等事業所 他

・内部統制の推進

(結果) 5. 運営体制 (2) 内部統制の推進及び会計監査人監査の実施

・親の会活動の活性化と権利擁護の推進

(結果) 6. 東京都手をつなぐ親の会活動

9. 東京都育成会権利擁護支援センター

・本人活動の活性化

(結果) 8. 本人活動 (1) 本人活動の活性化 他

(4) 円滑な事業運営のための人材確保と人材育成

(結果) 5. 運営体制 (3) 人材確保 他

上記、(1) から (4) までを令和 5 年度事業運営の重点目標と位置付けて事業に取り組んだ。なお、具体的結果については上記、(結果) にて記した章、項目を中心に報告。

4. 事業運営

(1) 運営事業所 別紙一覧表

(2) 本年度開設等事業所 (重点目標の (3))

なし

(3) 事業終了事業所等

なし

(4) 指定管理更新事業所（指定管理に向けて公募選定に応じた事業所）

指定管理期間	事業所名
令和7年度～	中野区立かみさぎこぶし園（指定管理期間10年）
	世田谷区立奥沢福祉園（指定管理期間5年）
	世田谷区立給田福祉園（指定管理期間5年）
	世田谷区立桜上水福祉園（指定管理期間5年）
	世田谷区砧工房・分場（指定管理期間5年）
	世田谷区立すきっぷ（指定管理期間5年）
	新宿区立高田馬場福祉作業所（指定管理期間5年）
	練馬区立貫井福祉園（指定管理期間5年）
	練馬区立貫井福祉工房（指定管理期間5年）
	練馬区立谷原フレンド（指定管理期間5年）
	練馬区立谷原あおぞら学童クラブ（指定管理期間5年）
	練馬区立大泉障害者地域生活支援センターさくら （指定管理期間5年）

(5) その他（移転事業所）

・豊島通勤寮仮移転

移転先 豊島区立旧朝日中学校跡地（校舎）

住所 豊島区西巢鴨四丁目9番地1号

移転日 令和5年4月27日

移転期間（予定） 令和5年4月27日～令和7年7月31日

・新宿区立新宿生活実習所仮移転

移転先 東京都立市谷商業高校跡地（校舎）

住所 新宿区矢来町6番

移転日 令和3年6月22日

移転期間（予定） 令和3年6月22日～令和7年8月29日

・大田区立くすのき園 建て替えによる仮移転

大田区2丁目10-1（旧北蒲小学校）

移転日 令和6年4月1日

移転期間（予定） 令和6年4月1日～令和8年3月31日

(6) その他（東京都等指導検査事業所）

なし

5. 運営体制

(1) 役員等体制

① 役員（12名）

役 職	氏 名	備 考
理 事 長	立原麻里子	新宿区手をつなぐ親の会副会長
副理事長	永田 直子	杉並区手をつなぐ育成会会長
副理事長	森山 瑞江	練馬区手をつなぐ親の会会長
副理事長	高橋 香	足立区綾瀬福祉園施設長
常務理事	仁田坂和夫	事務局長
理 事	渡邊理津子	板橋区手をつなぐ親の会会長
理 事	松崎 伸一	特定非営利活動法人三鷹はなの会理事長
理 事	佐藤 宏樹	事務局次長
理 事	緑川 眞	恩方育成園施設長
理 事	小原誠太郎	江東区東砂福祉園施設長
監 事	半澤 嘉博	東京家政大学児童学部初等教育学科特任教授
監 事	菅原由美香	税理士法人SVC
任期：令和5年6月26日から令和7年6月の定時評議員会の終結時まで		

② 評議員（14名）

氏 名	所 属 等
山口 幸子	社会福祉法人新宿あした会理事長
松矢 勝宏	全日本特別支援教育研究連盟前理事長・東京学芸大学名誉教授
岩井 雄一	社会福祉法人せたがや櫨の木会理事長
湯汲 英史	公益社団法人発達協会常務理事
山口 恵子	知的障害者と共に歩む会会長 第1ブロック
大上 好江	品川区手をつなぐ育成会元会長 第2ブロック
小西 早苗	板橋区手をつなぐ親の会名誉会長 第3ブロック
会田 久雄	江東区手をつなぐ親の会会長 第4ブロック
森井 道子	狛江市手をつなぐ親の会会長 第5ブロック
扇谷 正敏	とぶき育成園保護者元会長 第6ブロック
長尾 英治	特定非営利活動法人わかばの会事務局長
笹谷 亨江	元法人事業所施設長
三好 由加	世田谷区手をつなぐ親の会副会長 第2ブロック
水野 夏美	立川市手をつなぐ親の会会長 第5ブロック

任 期：令和3年6月25日から令和7年6月の定時評議員会の終結時まで

(2) 内部統制の推進及び会計監査人監査の実施（重点目標の（3））

① 会計処理適正化の推進

会計コンサルタント	辻・本郷 税理士法人
-----------	------------

② 指導検査委員による内部検査の実施

指導検査委員	藤村 剛、山崎弘子、田代崇久、松岡千登勢、寺岡真一、 鵜沼 清、笹島壯史
会計監査人対応・ 内部統制整備運用 アドバイザー	問山公認会計士事務所

内部検査実施状況表

実施日	内容	対象事業所
1月28日	経理	練馬区立貫井福祉園・貫井福祉工房
1月30日	経理	江戸川区立さくらの家
2月18日	経理	北区立あすなろ福祉園
3月5日	経理	世田谷区立桜上水福祉園

③ 会計監査人監査の実施

PwC Japan有限責任監査法人

④ 法人組織として求められる内部統制の推進

会計コンサルタント、会計監査人対応・内部統制整備運用アドバイザー等から適宜、教示を受け内部統制、会計処理面における統制推進を進めた。

⑤ 役員会議等

理 事 会	6/10、6/11、10/28、12/23、2/28、 3/24、3/27 計7回
決議省略提案	5/21、6/14、7/19、8/14、9/25、12/26 計6回
評 議 員 会	6/28（決議省略） 計1回
三役会	4/4、5/16、6/7、7/3、9/5、 10/1、11/7、12/3、1/9、2/4 3/4 計11回

(3) 人材確保（重点目標の(4)）

① 定期採用試験

(受験者数名 145 / 合格者 91 数名)

試験日			受験者数	合格者数	内訳
	筆記	面接			
4月	12日 16日	16日 25日	19	12	新卒25卒(支援) 既卒(支援、事務) 人材バンク(支援)
5月	7日 13日	13日 24日	15	8	新卒25卒(支援) 既卒(支援、事務、看護)
6月	12日 18日	18日	15	11	新卒25卒(支援) 既卒(支援)
7月	8日 12日 16日 19日	8日 19日	9	3	新卒25卒(支援) 既卒(支援、事務)
8月	2日	9日	11	6	新卒25卒(支援) 既卒(支援)
9月	6日 13日	13日 19日	13	10	新卒25卒(支援) 既卒(支援、看護)
10月	8日 31日	15日	4	4	新卒25卒(支援) 既卒(支援、看護)
11月	5日 11日 22日	11日 18日 22日	9	5	既卒(支援、事務、看護)
12月	6日 13日	13日 20日	12	7	新卒25卒(支援) 既卒(支援、事務)
1月	10日 16日	16日	10	6	新卒25卒(支援) 新卒26卒(支援) 既卒(支援、看護)
2月	6日 12日	12日	9	9	新卒26卒(支援) 既卒(支援、看護)
3月	5日 13日	13日	19	13	新卒26卒(支援) 既卒(支援、看護)

					人材バンク（支援）
合計		1 4 5	9 4		

② 次年度新規卒業生獲得に向けた職場説明会等への参加

	参加人数	内容
学生向け説明会	1 3 1	読売理工医療福祉専門学校オンライン就職フェア 日本社会事業大学就職フォーラム 東京こども専門学校就職説明会 東京未来大学福祉保育専門学校 福祉の仕事就職フォーラム FUKUSHI m e e t s 高卒就職情報交換会
法人説明会	4 7	WE B説明会
インターン シップ説明会	1 0	WE B面談
施設見学会	1 6	施設見学会
合計	2 0 4	

関係誌への掲載

マイナビ2025、求人NAVI、キャリアス求人、ハローワーク、
産業雇用安定センター、東京しごとセンター、フクシゴト、株式会社メドレー、
リクナビNEXT、マイナビ転職、I n d e e d、パソナ（再就職支援サービス）

③ 育成会人材バンクの活用

職場復職者	3名
年度新規登録者	1 4名

④ 人材紹介の利用（令和6年度受験合格者の内訳）

	新卒支援員	中途支援員	中途事務員	中途看護師	その他	全体
合格者員数	(25卒) 2 4 (26卒) 6	5 0	7	7	0	9 4
紹介人材員数	0	1 2	0	5	0	1 7
紹介利用割合 (%)	0	2 4. 0	0	7 1. 4	0	1 8. 0
経費 (単位:万円)	0	1, 2 0 0	0	5 0 0	0	1, 7 0 0

⑤ 内定者への交流会・研修会の企画と実施

次年度 内定者	7月22日	内定者懇親会（会場：Leaves） 7名
	8月17日	内定者懇親会（会場：すだちの里） 8名
	9月11日	内定者懇親会（会場：本部） 4名
	12月2日	内定者ワークショップ（会場：本部） 7名
	2月7日	内定者ワークショップ（会場：貫井） 12名
	3月7日	内定者全体研修（会場：本部） 23名

（４）人材育成（重点目標の（４））

① 職員研修プログラムの充実

キャリアアップ研修は、処遇改善のキャリアパス要件にも位置づけられており、法人職員としての支援者の資質の向上に向けたプログラムが組まれている。カッツモデルに基づき、年次が上がるにつれて業務遂行能力、対人関係能力、概念化能力の習得が的確に身につくようにビジネススキル研修が組まれている。入職から経年ごとに必ず受講し、グループワークによるアウトプットを重視して権利擁護や法人職員としての自覚を促すこと、研修報告書作成時には上席とフィードバックを設けるなど、学習効果を高める仕組みを導入している。

eラーニング（スペシャルラーニング）は身近に手軽に個人の必要度に合わせて学べるツールとして導入している。法人独自の研修動画も充実し、全職員に決まった動画の視聴を義務付けることにより、支援や権利擁護の原点回帰にも活用することができた。

入職から3年目までを対象に、他の施設で体験研修を義務付け、さらに居住系施設やBCPの観点からエリア内の居住施設の体験をするなど、「リアライズ研修」（広く気づきを得る体験の機会）を設定した。

希望者が参加できるプレ研修と、相談支援事業所（基幹型と特定事業所の2か所）を固定したメンバーで行う実務体験を通じて相談支援を広く学び、将来的な人材の発掘、育成のためのリアライズ研修を合わせて行う相談支援研修を実施した。

② 人事考課制度の推進

ア. 社会保険労務士・本部人事考課担当者および人事考課委員が、各事業所の調整会議にアドバイザー・オブザーバーとして参加した。また、社会保険労務士が参加した調整会議に、人事考課委員が同席し、オブザーバーとして必要

な人事考課に関する知識を習得した。

- イ．社会保険労務士、本部人事考課担当者、人事考課委員が、各調整会議の振り返りを行い、課題を整理し、人事考課研修に反映させた。
- ウ．人事考課委員会を定期的開催し、研修の準備および人事考課制度運用上で生じている課題に対して、検討し必要な対応を行った。
- エ．人事考課制度の精度向上のため、以下の研修を実施した。

5月14日	人事考課研修中級編 参加者61名 第一次考課者・中堅職員向け（講師：阿世賀陽一）
6月11日	人事考課研修新任編 参加者38名 新任職員向け（講師：阿世賀陽一）
8月27日	特別開催 人事考課研修施設長編 参加者47名 施設長・副施設長向け（講師：阿世賀陽一）
12月10日	人事考課研修基本編 参加者26名 受講を希望する職員（講師：阿世賀陽一）
1月14日	人事考課研修新任編 参加者29名 新任職員（中途採用）向け（講師：阿世賀陽一）

③ 研修の実施

ア．キャリアアップ研修（GW：グループワーク FT：ファシリテーター）

科目	実施日	内容（講師）	対象参加人数
新任	4月18日	【集合研修 オリンピックセンターにて】 理事長講話（立原理事長） 家族の経験を知ろう（地域育成会会員）、 マナー研修、お金のしくみを知ろう（日本生命）	73名
	4月19日	【オンライン研修】 職場の規則を知ろう（佐藤次長） コンプライアンス研修入門編（問山公認会計士） 人事考課について（青木施設長） ハラスメント防止研修（中村、早川弁護士） 障害者虐待防止研修（中村、早川弁護士） 職員支援体制を知ろう（有吉次長）	50名
	4月25日	【集合研修 オリンピックセンターにて】	72名

		統一ミッションを知ろう（GW） 活動規範と支援の基本を知ろう（GW） 法人を知ろう（高橋副理事長） 自分の将来を考えよう（橋本人事主任） 研修のまとめ（研修委員）	
	8月28日	【オンライン研修】 （4月19日の録画）	キャリア 採用者 13名
	11月25日	【オンライン研修】 （4月19日の録画）	キャリア 採用者 10名
	2月26日	【オンライン研修】 （4月21日の録画）	キャリア 採用者 9名
2 年 目	6月25日	【集合研修 オリンピックセンターにて】 二年目職員への期待（仁田坂事務局長） キャリアプランを考えよう（宮地人事主任） グループディスカッション（研修委員）	2年目職 員 58名
	6月4日	【オンライン研修】 ファシリテーションとは（研修委員） 当日の進行レクチャー	FT 希望者 8名
キャ リア I	8月29日	【オンライン研修】 中堅職員の役割 （社会福祉法人清水基金主任 岡田裕樹氏）	3～5年 目 職員 50名
キャ リア II	10月7日	【オンライン研修】 中堅職員（グループ・リーダー）が果たすべき 使命と役割「セルフ・リーダーシップのススメ」 （日本女子大 久田則夫氏） コンプライアンス研修「初級編2」 （問山公認会計士）	6～8年 目 職員 50名

キャリア ア Ⅲ	11月8日	【オンライン研修】 支援の本質を考えてみよう （はるにれの里 加藤潔氏） 理事長講話 虐待防止クレドに関するGW（研修委員）	9年目以上 職員 43名
新任主任	6月20日	【集合研修 本部にて】 理事長講話（立原理事長） 自己紹介・主任像のプレゼン（研修委員） 主任業務について次長講話（有吉次長） 事業計画PDCAとSV（研修委員）	新任主任 5名
	1月24日	【集合研修 本部にて】 施設長講話 （北区あすなろ福祉園 土井） 統一ミッションを活動規範についてGW （研修委員） 育成会に関する小テスト（研修委員） 次長講話（佐藤次長） 事業計画PDCAとSV（研修委員）	新任主任 5名
新任施設長	9月17日	【集合研修 本部にて】 経営概論（みんなでいきる 片桐公彦氏） 労務管理（阿世賀事務所 阿世賀陽一氏）	新任施設長 8名
	9月20日	【集合研修 本部にて】 経理経営（藤村次長、山崎係長） リスクマネジメント（中村、早川弁護士）	新任施設長 8名
	9月27日	【集合研修 本部にて】 人材育成と人的資源管理 （清心会 岡部浩之氏） 総合マネジメント（公認会計士 問山新司氏）	新任施設長 8名
	10月10日	【集合研修 本部にて】 人権（関哉直人弁護士） 総合論Ⅰ（立原理事長） 総合論Ⅱ（仁田坂事務局長）	新任施設長 8名

	10月16日	【集合研修 本部にて】 グループワーク 事業計画及び重点目標に対する考え方、視点についての課題の捉え方について 管理職としてとらえている現所属機関における課題とその改善案について	新任施設長 8名 現任施設長 21名
--	--------	---	-----------------------------

イ. キャリアアップ研修（ビジネススキル研修）

科目	実施日	内容（講師）	対象参加人数
2年目	7月23日	【オンライン研修】 文書コミュニケーション研修	31名
	7月25日	【オンライン研修】 文書コミュニケーション研修	30名
	8月20日	【オンライン研修】 タイムマネジメント研修	30名
	8月22日	【オンライン研】 タイムマネジメント研修	29名
キャリアⅠ	9月3日	【オンライン研修】 対人能力強化研修	28名
	9月10日	【オンライン研修】 対人能力強化研修	29名
キャリアⅡ	10月22日	【オンライン研修】 論理構成力強化研修	30名
	10月29日	【オンライン研修】 論理構成力強化研修	24名
キャリア	11月14日	【オンライン研修】 問題解決スキル研修	23名

Ⅲ	11月19日	【オンライン研修】 問題解決スキル研修	28名
---	--------	------------------------	-----

ウ. 法人主催研修

科目	実施日	内容（講師）	対象 参加 人数
自閉症 支援 講座	9月2日～ 9月15日	【オンライン研修】 自閉症の特性と学習スタイル 評価から支援へ （よこはま発達クリニック 宇野洋太氏）	103名
	9月22日 9月23日	【集合研修】 一日目：評価セッション、学習課題の作成など 二日目：家事活動の評価、支援立案・実施など 統括 自閉症eサービス全国ネット 中山清司氏 トレーナー よこはま発達クリニック 佐々木康栄氏、 明星大学 縄岡好晴氏、菊鉾会 松尾浩久氏	21名
	12月13日	【オンライン研修】 自閉症の理解と支援 ～現場支援におけるアセスメント～ （自閉症eサービス全国ネット 中山清司氏）	約 130名
実践 事例 発表 会	2月14日	【オンライン研修】 発表施設 大田区立南六郷福祉園 （落合悠太、内野淳弥、エルマイちひろ） 城北地域生活支援センター （松平ひとみ、大久保明香） 豊島区立目白生活実習所分室 ぷらす （今林政隆、奥田愛子） 江東通勤寮、立川通勤寮 （山口達也、大出野乃花、尾崎悠平）	約85名

自 閉 症 プ ラ ス ワ ン 研 修	2月27日	【オンライン研修】 講師 よこはま発達クリニック 宇野洋太氏 報告者 大田区立南六郷福祉園 原英次 Leaves練馬高野台 鈴木裕士 練馬区立谷原フレンド 井上晃、長通文哉 杉並育成園すだちの里すぎなみ 菊地大介 江戸川区立みんなの家 近藤祐介	20名
A B A プ ラ ス ワ ン 研 修	10月9日	【集合研修 本部事務局AB会議室】 講義（法人本部事務局次長 加藤永歳） 行動とは何か	23名
	11月11日	【集合研修 本部事務局AB会議室】 講義（法人本部事務局次長 加藤永歳） 行動に影響をあたえる基本的な仕組み（1）	24名
	12月3日	【集合研修 本部事務局AB会議室】 講義（法人本部事務局次長 加藤永歳） 行動に影響をあたえる基本的な仕組み（2）	24名
	1月10日	【集合研修 本部事務局AB会議室】 講義（法人本部事務局次長 加藤永歳） 行動問題の対応を考える 機能的アセスメント	22名
	2月5日	【集合研修 本部事務局AB会議室】 講義（法人本部事務局次長 加藤永歳） 行動問題の対応を考える 機能的アセスメント	23名
	3月17日	【集合研修 本部事務局AB会議室】 講義（法人本部事務局次長 加藤永歳） 機能的アセスメント まとめとその他の行動の 仕組み	23名
相 談 支	7月5日	相談支援について知る（ひだまりの里 常安、 まつばらけやき 鈴木） 事例検討	22名

援 研 修		意見交換	
	7月24日 7月25日	リアライズ研修（①杉並区障害者相談支援センター高円寺、②大田区立障がい者総合サポートセンター）	① 3名 ② 3名
	8月21日 8月22日	リアライズ研修（ひだまりの里相談支援）	5名

【職員数】（令和7年3月31日現在）

2, 131名	期間定めなし1, 159、契約職員215、パート職員721、アルバイト6、再雇用嘱託職員30
---------	--

【期間の定めのない職員動向】

採用 84名	副施設長1、支援員70、事務員5、看護師8 （新卒23、中途採用61）
退職 119名	施設長2、主任6（支援員3（1）、事務員1、調理員1（1））、 支援員84（8）、事務員10（1）、看護師16（4）、 栄養士1（ ）は定年

（5）職員のサポート体制

① 無料相談窓口メンタルサポートネット（東京メンタルヘルス株式会社）

利用件数	11人（新規8名）が55件利用（面接32件）
相談内容	職場内人間関係12件・私的人間関係17件 職場環境12件・業務内容3件・ハラスメント1件 キャリア1件

② 職員の悩みごと相談窓口（担当：青木祐介、木村文枝）

相談件数	22件
初回相談方法	電話18件、面談2件、メール2件、文書0件、 FAX0件
主な相談内容	職場の人間関係7件、ハラスメント2件、 支援・業務3件、人事・労務9件、その他1件
延べ応対件数	延べ60回 （電話34回、面談15回、メール9、その他2回）

③ メンタルヘルス指定相談医の委嘱

株式会社 HL&E 橋本大彦医師	(相談窓口) 法人事務局
面談実施 4/19 5/17 6/7 7/19 8/8 9/13 10/25 11/15 12/13 1/24 2/21 3/21 面接者(延べ) 25名	

④ 職員のストレスチェック実施体制

実施委託機関	株式会社 HL&E
実施時期	令和7年2月17日～3月9日 高ストレス者面談申込 0名

(6) 労務管理体制の整備

コンサルタント	社会保険労務士 阿世賀事務所
---------	----------------

(7) 事業支援体制

① 事業支援委員の活用

渡邊健治、河津英彦、滝沢しげ子(前期のみ)、山本多賀子、原 智彦

上記5名の事業支援委員が下記事業所を訪問し施設長、主任、職員とヒアリングを行い、助言等をもって適正な事業運営の一助とした。

氏名	担当事業所
渡邊 健治	新宿区立高田馬場福祉作業所、江戸川区立さくらの家
河津 英彦	練馬区立貫井福祉園・福祉工房、中野区立かみさぎこぶし園
山本多賀子	江戸川区立障害者支援ハウス、江戸川区立えがおの家
滝沢しげ子	立川通勤寮
原 智彦	北区若葉福祉園、北区あすなろ福祉園
事業支援委員会	9/11、3/10

(8) 危機管理体制

① 顧問弁護士

未来市民法律事務所	中村裕二、早川美恵子
番町総合法律事務所	河本みま乃、上松信雄

危機管理体制の強化を目途に顧問弁護士と業務理事等との意見交換会を原則、毎月開催した。

顧問弁護士 意見交換会	(弁護士) 中村裕二、早川美恵子 (育成会) 業務理事、有吉孝之、齊藤一紀 浅野和範、青木祐介、木村文枝
	4/9 5/20 7/4 9/9 10/18 11/29 12/23 1/28 3/3 計9回

② 施設・事業所ごとに施設賠償責任保険等に参加

③ 役員、評議員、施設長等に対する損害賠償請求リスクに対応できるマネジメントリスクプロテクション保険に参加

④ 懲戒関係

懲戒案件	1 件
懲戒内訳	懲戒処分非該当（口頭注意） 1 件

⑤ 施設賠償責任保険等

施設賠償保険 15 件（治療費、見舞金等） 6 事業所

⑥ 内部通報

社内窓口	メール・電話・FAX 受付対応
青木 祐介	職員の悩みごと相談窓口担当
有吉 孝之	事業支援部門次長
社外窓口	メール・FAX・郵送 受付対応
上松 信雄	弁護士 番町総合法律事務所所属 内部通報担当者
河本 みま乃	弁護士 番町総合法律事務所所属 内部通報担当者
通報実績	0 件

(9) 権利擁護、苦情解決体制

① 委員会等

法 人	苦情解決第三者委員 虐待防止委員会 職員の悩みごと相談・苦情受付窓口（青木祐介、木村文枝）
事業所	苦情解決第三者委員 虐待防止委員会 身体拘束等適正化委員会 苦情受付窓口（事業所ごとに担当者設置）

② 法人苦情解決第三者委員

渡邊健治、河津英彦、山本多賀子、関哉直人

③ 法人虐待防止委員会

委員長	仁田坂和夫(常務理事)	委 員	緑川 眞(理事)
委 員	立原麻里子(理事長)	委 員	関哉直人(弁護士)
委 員	永田直子(副理事長)	委 員	山本多賀子(社会福祉士)
委 員	森山瑞江(副理事長)	委 員	青木祐介 (虐待防止マネージャー)
委 員	佐藤宏樹(理事)		
開催日	10／18、3／14		

④ 虐待防止マネージャーエリア会議

エリア	グループ	実施日
A	1 グループ	7/5、2/6
	2 グループ	7/16、2/3
B	3 グループ	6/26、2/18
	4 グループ	8/2、2/20
C	5 グループ	6/28、2/12
	6 グループ	6/18、3/10

(10) 会議その1 (随時、必要な研修も会議中に実施)

施設長会議	4/17、5/15、6/19、7/17、9/18 10/16、11/20、12/18、1/15 2/19、3/19 参集・オンライン組み合わせ開催
主任係長会議	・実施状況は下表に別途、掲載
事務担当者会議	7/24会計研修(就労会計について)、10/24 11/22労務研修(育児介護休業法・雇用保険法改正について)
看護師連絡会	・5/22(参集) 新宿区立新宿生活実習所 自己紹介 施設情報交換 出席 20施設 23名 ・11/29(参集) 法人本部 研修 「障害のある人の性と支援」 講師 山本良典氏

	東京都心身障害者福祉センター 出席（参集）施設 13名 Web 参加 施設 30名 動画視聴 6名 ・2/19（参集）法人本部 研修「てんかんを知る」 講師 久保田 有一医師 東京女子医科大学東医療センター講師 TMG あさか医療センター脳神経外科 臨床顧問 出席 30施設 31名 ・3/15（参集） 新宿区立新宿生活実習所 研修報告 次年度計画 施設情報交換 出席 20施設 22名
--	--

主任係長会開催一覧

4/16 参集開催	・立原理事長より「講話」 講話・グループワーク ・新任主任係長紹介 ・今年度のテーマ説明 51名
5/22 参集開催	・仁田坂事務局長より「法人事業計画について」 ・世界ゆるスポーツ協会より 講義・グループワーク 69名
7/2 ウェブ会議開催	・関哉弁護士より 講義 『虐待防止と支援』 青木室長より 講義 『通報事案及び課題の共有』 98名
7月 エリア開催	<テーマ> ・スペシャルラーニングの活用状況や運用について ・人事考課について ・BCP（事業継続計画）について ・人材育成について ・職場環境について ・行事について

	・権利擁護について ・DX（デジタルトランスフォーメーション）について ・有吉次長に聞いてみたい事について テーマを選びグループワークを実施 Aエリア1グループ 9名 Aエリア2グループ 16名 Bエリア3グループ 11名 Bエリア4グループ 12名 Cエリア5グループ 12名 Cエリア6グループ 8名
9月 施設見学会	「東京都立永福学園」 見学日時：令和6年9月18日（水） 9：30～11：30 内容：肢体不自由部門 就労部門 大塚ろう学校永福分教室 見学 12名 「Leaves 練馬高野台」 見学日時：令和6年9月25日（水） PM 14：30～16：30 内容：施設内見学 意見交換会 11名
11／27 ウェブ会議開催	・虐待防止研修 『2024年度 虐待防止・身体拘束等適正化研修～通報と同時に要因分析・実行していく力を身に付ける～』 講師（社福）みんなで生きる 理事 片桐公彦氏 虐待防止に関する事例検討 講義・グループワーク 66名
12／25 参集開催	・牧野次長による 『法人の危機管理委員会の取り組みについて』 講義・グループワーク 47名
1／20 参集開催	・コンプライアンス研修 講師 公認会計士 問山新司氏 講義・グループワーク

	49名
2／10 参集開催	・虐待防止事例報告 「R6年度法人内 通報事例の共有」 事例報告・質疑応答 75名

(11) 会議その2（中長期計画作成他）（重点目標の（2））

① 中長期計画作成ワークショップ

法人の重点目標にある中長期計画の推進を実現するため、理事、監事、施設長等が参加し、「みんなで描く東京都育成会モデルタウン構想」というテーマでワークショップを実施しロードマップの見直しを行った。

名称	構成員	開催日
ミッションをアクションで 超えていこうPROJECT	理事、監事、親の会 役員、施設長等職員 34名	令和6年12月12日

② 事業幹部会議

法人経営に関する検討に必要な情報整理、意見交換のために以下の会議を実施した。

名称	構成員	開催日
業務理事及び次長会議	業務理事 5名 本部次長 3名	施設長会議開催日

(12) 会議その3（経営改善、将来構想、BCP策定）

① 入所系施設長会議

報酬改定における対応、中期経営計画のブラッシュアップ、預り金等支援サービスの運用推進、外国人採用の取り組み、地域連携推進委員会の開催、意思決定支援の実践などの課題共有と解決に取り組んだ。

名称	構成員	開催日
入所施設検討委員会	事務局長、業務理事 1名、本部次長1名 、事務主任1名、入 所施設長・副施設長	6／5、8／9 10／11、12／14

	等	
--	---	--

② 地域生活支援検討委員会

通勤寮・グループホーム・相談支援のそれぞれの現場での単身生活移行支援事例から、支援内容や現行制度についての理解を深め、且つ居住支援法人との連携に伴う新たな支援方法の開発、法人としての好事例実践の蓄積を行った。
また、法人共有の預り金等支援規程の実践事例を検証し、利用者からの預り金のキャッシュレス化の可能性を検討した。

名称	構成員	開催日
地域生活支援検討委員会	事務局長、業務理事、通勤寮長、グループホーム施設長、相談支援専門員等	6 / 4、9 / 5、 10 / 18、12 / 9

③ 合同プロジェクト会議

各プロジェクト会議からの報告と、意見交換および検討のために以下の会議を実施した。

名称	構成員	開催日
合同プロジェクト会議	事務局長、業務理事 4名、本部次長 3 名、プロジェクト担 当等	5 / 15、9 / 25、 1 / 17、3 / 19

④ プロジェクト会議

プロジェクトチームを設置し、法制度や法人経営に必要な対応について会議を実施した。必要に応じて専門家からの助言をもとに情報交換を行った。

名称	構成員	開催日
就業規則プロジェクト	業務理事 1名 本部次長 1名 施設長 2名 主任 1名	7 / 22、2 / 17、3 / 18
賃金規程プロジェクト	業務理事 2名 本部次長 1名 係長・事務担当者等 5名	4 / 26、5 / 23、6 / 1 4、7 / 22、8 / 28、 9 / 25、10 / 28、 11 / 21、12 / 16、 1 / 31、3 / 11

均衡待遇プロジェクト	業務理事 1名 施設長 3名 主任 1名	5 / 2 0、1 0 / 2 3、 1 2 / 2 0、2 / 1 7
処遇改善加算プロジェクト	事務局長 1名 主任・事務担当者等 11名	4 / 1 0、5 / 1 4、6 / 2 5、7 / 1 0、7 / 2 6、8 / 1 9、8 / 2 8、9 / 1 9、 1 0 / 3、1 0 / 3 1、1 1 / 1 4、1 1 / 2 6、1 2 / 2 0、1 / 2 1、3 / 1 1、3 / 2 8
障害者雇用プロジェクト	本部次長 1名 施設長 2名 主任・事務担当者等 4名	7 / 2 9、9 / 1 1、1 0 / 1 6、1 1 / 2 0（施設長会案 内）、1 1 / 2 6

⑤ 危機管理委員会

各事業所の福祉避難所の実態を把握し、危機管理一覧を更新した。災害時施設長相互応援体制を実体化すべく、リアライズ研修を実施し、施設長の応援体制を検証した。さらに相互応援体制を拡大するために主任による相互応援体制を計画した。

名称	構成員	開催日
危機管理委員会	事務局長、ブロック長、グループ長、本部担当次長、主任担当者等	7 / 1、1 0 / 2 1、 1 / 2 8

6. 東京都手をつなぐ親の会活動（重点目標の（１）～（３））

（１）役員体制

会 長	立原麻里子
副 会 長	永田直子、森山瑞江、渡邊理津子
部 会 長	山根聖子（研修）、三好由加（施策）、久松順子（教育） 宮澤百合子（本人活動支援）
企画委員	堀口智子、小矢野和子、伊東とも子、櫻井美恵子、加藤智子 小杉裕子、川村智美、佐藤奈緒、賀藤一示、小野田由夏 形岡拓文、岩男加代、遠藤知子、榮 幸世、徳山香織 熊澤砂智、藍さとみ

役員・企画委員会（法人会議室）４／１１、６／１３、１／９、２／２８

その他随時オンラインで情報交換

（２）支部との連携

① 支部長会（会場：法人会議室・WEB会議）参加人数（WEB参加）

４月１７日	事業計画・活動部会企画委員の推薦について他	４４（２５）名
５月 ９日	対話集会・都大会について他	４４（２４）名
９月 ５日	都議会政党要望・東京労働局交渉・大研修会について他	４５（２２）名
１２月 ３日	令和７年度予算編成における各種団体等要望 （知事ヒアリング）について他	４８（２５）名
２月 ４日	令和７年度東京都障害福祉関係予算の概要説明他	６０（３４）名
３月 ４日	令和８年度東京都予算等に対する要望アンケートについて他	４２（２２）名

② 支部ブロック会

９月２５日	第三ブロック（セッション杉並）
１０月２９日	第二ブロック（目黒区美術館）
１１月 １日	第三ブロック（法人会議室・WEB会議）
１１月 ５日	第一ブロック・第二ブロック（法人会議室・WEB会議）
１１月 ６日	第四ブロック・第六ブロック（法人会議室・WEB会議）
１１月 ７日	第五ブロック（法人会議室・WEB会議）

③ 大会等

６月１７日	東京都対話集会（BIZ新宿）	３２８名
-------	----------------	------

～ 1 8 日	福祉局・保健医療局・教育庁・産業労働局・総務局	
7 月 1 2 日	東京都育成会大会全体会（なかのZERO） 講演：テーマ「ずっとこの街で暮らしていくために」～ 安心して 託し、託される地域へ ～（志賀 利一 氏）	6 6 7 名
1 0 月 4 日	大研修会（国立オリンピックセンター 大ホール） テーマ「安心して託し、託される地域とは」（シンポジウム） （藤井 亘 氏、小川 紗世 氏、菊地 良美 氏 菊間 英子 氏、御木 あかり 氏）	3 5 0 名
1 月 1 8 日	東京都育成会新年会（京王プラザホテル）	5 4 2 名

④ 都知事・都議会等への次年度予算要望

8 月 2 8 日	都民ファーストの会 東京都議団、都議会公明党	
9 月 2 日	日本共産党東京都議会議員団	
9 月 4 日	東京都議会自由民主党、ミライ会議、東京都議会立憲民主党	
9 月 1 8 日	東京労働局交渉（九段第三合同庁舎）	
1 2 月 9 日	各種団体からの東京都予算に対するヒアリング(知事ヒアリング)	

※昨年に続き都知事への直接予算要望の機会を持つことができた。

⑤ 理解啓発のキャラバン隊活動

- ア．東京都障害及び障害者理解研修 1 1 / 2 2、1 2 / 2 3
イ．法人内定者研修 3 / 7

(3) 部会活動

- ① 教育部会：「地域で生きる力をつけるために、共に学び、共に育む
～全ての子に、その時に必要な環境と教育を～」

ア．部会会議 オンライン開催

5 月 2 2 日	令和 6 年度計画、教育庁への要望、情報交換 他	4 7 名
1 0 月 3 0 日	活動報告・予定、情報交換	4 2 名
3 月 1 1 日	東京都教育庁より教育施策説明（都職員：中村 大介 氏） 活動報告・予定、情報交換	3 6 名

イ．企画委員会 ZOOM WEB 会議（7 回）

4 / 1 2、4 / 2 6、5 / 1 0、6 / 7、6 / 1 3、7 / 1 9、9 / 2 0

ウ．各支部の教育部会活性化のための支援
要望の取りまとめ。支部長会への出席。

エ．東京都知的障害教育四者懇談会

2月 3日	会場：東京都育成会会議室 担当団体：東京都手をつなぐ育成会 11名 参加団体：東京都特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会 東京都知的障害特別支援学校長会 東京都知的障害特別支援学校PTA連合会
-------	--

オ. 教育部会学習会（オンライン配信 ZOOM ウェビナー）

テーマ：「リアルな防災 首都直下地震～1400万人が被災者になるとき～障害のある子の命と暮らしを守りたい 今！できることは何か？」

日 時：令和7年1月20日（月）10時～12時

講 師：小野 修平 氏

127名

- ② 施策部会：東京都、都議会政党への予算要望書整理、東京労働局交渉、知事ヒアリング
- ③ 研修部会：都大会、大研修会の講師選定や打ち合わせ等
- ④ 本人活動支援部会：ゆうあい会運営委員会、総会、交流会、全国大会（東京大会）本人大会実行委員会に参加。

（4）法人機関誌「TOKYO手をつなぐ」

「TOKYO手をつなぐ」（NO. 589～NO. 594）発行

年6回 奇数月 NO. 589～590 4,400部発行

NO. 591～594 4,200部発行

編集委員長	大塚 晃
編集委員	半澤嘉博、杉野学、小野寺肇、神立佳明、立原麻里子、渡邊理津子、伊東とも子、川村智美、久松順子、仁田坂和夫、牧野隆行、西村周治、沢瀬大介、沼倉浩之、寺澤宣通、田邊裕子、柴山健一、鈴木幸雄
事務局	佐藤宏樹、清水里美
編集会議	4／15、6／17、8／19、10／21、12／16、2／17

（5）一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会との連携

① 大会等

9月28日	関東甲信越ブロック大会(新潟県)101名
-------	----------------------

10月12日 ～10月13日	全国手をつなぐ育成会連合会全国大会（秋田県）137名
11月9日	全国事業所協議会研修大会（北海道）7名
5月9日 2月19日	関東甲信越ブロック各都県・政令指定都市代表者会議 (オンライン会議) 2名 (オンライン会議) 2名
3月11日	都道府県・政令指定都市育成会代表者及び事務局長会議（複数のブロックに分けて実施）（WEB）
3月27日～ 5月17日	2024年度育成会フォーラム・行政説明会（オンライン配信） 198名

② 役員・委員派遣など

名 称	役割	氏名
全国手をつなぐ育成会連合会国際委員会	運営委員長	寺澤 宣通
全国手をつなぐ事業所協議会	理事長	松崎 伸一
全国手をつなぐ育成会連合会編集会議	委員	永田 直子

③ 国際委員会の開催

委員	(委員長) 寺澤宣通 (委 員) 高橋 香、石川智子
会議	4/16, 6/25, 7/30, 9/10, 11/7, 12/12 2/17(R7) 計7回
活動内容	・全国手をつなぐ育成会機関誌「手をつなぐ世界の動き」原稿の為の情報収集補助 ・国際育成会連盟（インクルージョン・インターナショナル）との連絡調整（資料の翻訳） ・インクルージョン・インターナショナル総会へのウェブ参加（11/7） ・全育連とKAIDD（韓国知的発達障害福祉協会）との相互交流に向けた活動内容の協議 ・アジア知的障害会議参加に向けた連絡（資料の翻訳など）

④ 関係団体への推薦など

名 称	役割	氏名
-----	----	----

公益社団法人日本発達障害連盟	理事	三好 由加
東京都福祉のまちづくり推進協議会	委員	永田 直子
東京都障害者施策推進協議会	委員	森山 瑞江
高障機構/障害のある労働者の職業サイクルに関する調査委員会	委員	松崎 伸一
アジア知的障害会議参加企画委員会	委員	寺澤 宣通

⑤ 機関誌「手をつなぐ」の普及推進

東京都育成会が支部及び関係機関配布先数等を取りまとめて機関誌発行がなされた。（東京都育成会取りまとめ部数 902 部）

⑥ 都内開催会議等への支援

年度末に都内で開催される「連合会フォーラム」開催に向けて協力する。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止により、行政説明と研修をWEB配信している。

（６）福祉・障害教育関係団体との連携

① 委員会等への人材派遣・推薦

役員等	・ 公益社団法人日本発達障害連盟 ・ 全国特別支援教育推進連盟 ・ 公益社団法人東京都障害者スポーツ協会 ・ 社会福祉法人東京都社会福祉協議会知的発達障害部会 ・ 社会福祉法人NHK厚生文化事業団
評議員	・ 社会福祉法人東京都社会福祉協議会
委 員	・ 東京都障害者団体連絡協議会 ・ 東京都障害者社会参加推進協議会 ・ 東京都特別支援教育就学支援委員会 ・ 東京都障害者スポーツセンター運営懇談会 ・ 東京都社会福祉大会東社協会長表彰・感謝選考委員会 ・ 東京都社会福祉協議会地域福祉推進委員 ・ 公益信託西村良枝記念知的障害者福祉基金運営委員会 ・ 東京都福祉のまちづくり推進協議会 ・ 成田空港ユニバーサルデザイン分科会 ・ 成田空港ユニバーサルデザインワーキンググループ ・ 東京都障害者介護給付費等不服審査会

	・東京都障害者施策推進協議会 ・東京都障害者差別解消支援地域協議会 ・東京都障害を理由とする差別解消のための調整委員会 ・東京都障害を理由とする差別解消のための調整委員会専門部会 ・東京都多摩障害者スポーツセンター運営懇談会 ・東京都発達障害者支援地域協議会 ・東京都特別支援教育就学支援推進委員会 ・東京都特別支援教育担当指導主事等連絡協議会 ・関東運輸局東京運輸支局バリアフリーネットワーク会議 ・東京都工賃向上計画会議 ・東京都障害者技能競技大会運営委員 ・東京都労働局雇用移行推進連絡会 ・東京都自立支援協議会 ・東京都社会福祉協議会福祉サービス運営適正化委員会委員候補者選考委員 ・権利擁護センターぱあとなあ東京業務監査 ・障害児入所施設に入所する障害児等の移行促進に係る検討会 ・東京都福祉保健基礎調査検討会
その他	・JDF東京（立原麻里子、小原誠太郎）

② 東京都障害者福社会館の相談事業への協力

（相談員）堀口智子、大上好江

③ その他

- ・全日本特別支援教育研究連盟
- ・全国特別支援学級・通級指導教室設置校長協会
- ・全国特別支援学校知的障害教育校長会
- ・全国特別支援学校校長会
- ・東京都特別支援学級・通級指導教室設置校長協会
- ・東京都特別支援教育研究会
- ・東京都特別支援学校校長会
- ・東京都発達障害支援協会
- ・障害者各団体、日本チャリティ協会、教職員組合等々

7. 地域法人協議会活動（重点目標の（1））

（1）活動体制

活動体制表

会 長	立原麻里子
運 営 委 員 長	長尾英治
副 運 営 委 員 長	高田範一、吉村博之、郡司晴雄、橋爪亮乃
運 営 委 員	小山朋範、茂木秀光、石原康博、丹野克哉、宇野友則、松下行、加藤亮一、清水謙一、吉岡博之、蜷川大輔
参 与	松崎伸一
幹 事	長尾英治、高田範一、吉村博之、郡司晴雄、橋爪亮乃、松崎伸一
研 修 委 員 長	高田範一
ニュース編集委員長	郡司晴雄
専 門 部 会	就労支援部会 橋爪亮乃 生活介護部会 吉村博之 居住支援部会 加藤亮一 相談支援部会 吉岡博之 運営・経営支援部会 長尾英治 自主製品部会 郡司晴雄
東京大会実行委員会	長尾英治、高田範一、吉村博之、柏谷信博、松下行、茂木秀光、吉岡博之、酒井亮、矢島真寿美、橋爪亮乃、小尾充、蜷川大輔、清水謙一、石原康博、加藤亮一、梅澤恵子、安東信子、郡司晴雄、椎崎耕治、石原雄介、白坂一美

① 運営委員会等

運営委員会の下に幹事会、研修委員会、専門部会及びニュース編集委員会等を置き、協議会を牽引した。

② 幹事会は地域法人協議会を統括した。

③ 研修委員会は地域法人協議会に関わる研修を担当した。

④ 専門部会は東京大会の分科会に活動内容を集中させ、準備を行う中で、障害福祉サービス事業の課題などを整理した。

就労支援部会	東京大会に向け、第二分科会の企画を話し合った。
--------	-------------------------

生活介護部会	課題ニーズ調査は未実施だったが、東京大会に向け準備を行った。
居住支援部会	東京大会に向け、第三分科会の企画を話し合った。
相談支援部会	東京大会に向け、準備を行った。
運営・経営支援部会	東京大会に向け、第一分科会の企画を話し合った。
自主製品部会	東京大会での自主製品販売に向け、アンケート等で参加団体を募り、準備を進めた。
芸術・文化部会	担当委員不在の為、活動実績なし。

⑤ ニュース編集委員会は地域法人協議会ニュースの編集・発行を担当した。

「地域法人協議会ニュース ふらっとほーむ」の配信

4月号（NO. 115）～3月号（NO. 126） 毎月発行

⑥ 各委員会・部会には委員長・副委員長を置き、幹事会との調整を行う。委員長及び専門部会長から副運営委員長を任命し、副運営委員長は幹事として協議会を統括した。ニュース副編集委員長及び副専門部会長は未設置。

⑦ 全国手をつなぐ事業所協議会全国研修大会 東京大会にむけ、実行委員会を開催し、会場視察、各担当からの報告や進捗状況等の確認を行った。

（２）会議等

代表者会議	12／25
運営委員会	12／18
幹事会	4／17、6／3、7／22、9／10、10／31、 11／21、12／18、1／20、2／4、 3／26
ニュース編集委員会	5／23、7／17、9／25、11／20、 1／15、3／19
研修委員会	7／30、8／27、9／24、10／29、 11／26、12／17、1／28、3／25
東京大会実行委員会	5／21、9／26、2／28
事業所連絡会	未実施

（３）会員研修

① 一般研修会２回：４月、７月に実施した。

② 障害福祉サービス事業実践発表会：２月に実施し、５団体が発表した。

- ③ グループワーク研修：１月に実施した。
- ⑤ 東京都育成会が開催する各職員研修等へ参加した。
- ⑥ その他、４月に臨時役員研修会を実施した。協議会主催の研修会（三多摩研修等）は未実施。

研修一覧

４月１７日	臨時役員研修会 講演「障害福祉サービス事業所の運営について」（国立のぞみの園 田中正博氏） 参集型式 本部会議室 １１名
４月２５日	第１回研修会 講演「親の会と事業所の成り立ち～希望のある未来のために～」（全国手をつなぐ育成会連合会 顧問 久保厚子氏） 参集型式 本部会議室 ２８名
７月２５日	第２回研修会 講演「令和６年度東京都施策について（就労支援関係）」（東京都福祉局 就労支援担当課長 篠和子氏） シンポジウム（全国手をつなぐ事業所協議会合同研修） 「令和６年度報酬改定を受けて事業所運営の現状」 オンライン形式 ５１名
１月２８日	グループワーク研修 「強度行動障害に関する学び～仕組みから支援に活かせる考え方～」 （東京未来大学福祉保育専門学校 仙北屋雅人氏） 参集型式 本部会議室 １９名
２月２５日	実践発表会（全国手をつなぐ事業所協議会関東甲信越ブロック研修会併催） 参集形式 オリピックセンター ６１名
東京都育成会研修会	８月２９日 キャリアⅠ研修「“わたしのねがい”をかなえるために―支援計画とやりがいづくりを考える―」
	１０月１７日 キャリアⅡ研修「中堅職員としての果たすべき使命と役割を考える」
	２月１３日 自閉症支援研修「自閉症の方のアセスメントについて」
	２月１４日 実践事例発表会

(4) 全国手をつなぐ事業所協議会の諸会議、研修会等への協力及び参加

11月9日	令和6年度全国手をつなぐ事業所協議会全国研修大会 北海道大会
-------	--------------------------------

8. 本人活動（重点目標の(3)）

(1) 本人活動の活性化

- ① 各支部や各事業所の本人活動について相互の情報交換や交流などを通じネットワークづくりを促進

全国大会に向けて近隣県の本人活動の状況確認を行った。 全国大会本人大会登壇者方と育成会本部にてWEBミーティングを実施し、内容の認・意見交換を行う。 本人部会参加者：本人会サンフラワー会（奈良崎氏：横浜） さいたまみんなの会（横山氏：埼玉） 南高愛隣会瑞宝太鼓（岩本氏：長崎） 高田馬場福祉作業所本人の会（新井氏）

- ② 支援者の養成研修などによる支援体制の整備

新たに親の会代表、施設長、主任が加わり支援体制を整えた。運営委員会前に打合せを行い、本人活動の在り方を協議した。

- ③ どりーむ通信の発行。

どりーむ通信を年4回（3月、6月、9月、12月）の20日に機関紙として発行。（各回500部ずつ発行）

- ④ どりーむ通信編集委員に各支部の本人参加を促進

昨年度から継続して積極的に参加。

編集委員

ゆうあい会	山口順子、別所和彦、松尾章司、中村真一、織田康司、眞山和久、杉本雄一
支援者	沼倉浩之、寺山菜穂子、高田和美、岩間玲菜、前田竜太、永井歩、横塚尚子、柴田裕香、安岡総一郎、山寄健太、滝澤雄大、稲垣理江、渡邊健実、青木杏樹、山口活、針ヶ谷健太郎、小原誠太郎
事務局	塩谷菜美
編集会議	4/10、4/26、6/21、7/16、8/5、9/9、10/2、10/30、12/9、1/8、

	1 / 2 1、3 / 1 1 (参集型を基本とし、WEB型併用) ※記事の編集会議以外に、マニュアルの周知やご本人と支援者の理解や親睦を深めるための会「話そうの会」をご本人発案で実施。 5 / 2 9、1 1 / 2 5
--	---

(2) ゆうあい会活動

① 活動の企画と実施

活動名	実施日	実施内容	参加者内訳
総会	6 / 1 6	全国大会東京大会実施年までの運営委員の任期延長、サークル活動の統合について内容確認・承認。	34名(会員19名、支援者13名、来賓2名)
懇親会	6 / 1 6	「まねきねこ新宿西口店」で会員同士の親睦を深めた。	19名(会員14名、支援者5名)
バスハイク	未実施	未実施	なし
交流会	1 1 / 1 7	根本 仁司 氏(サクラネ相談支援事業所)を招き「難病について」の講義と意見交換会。	28名(会員17名、支援者11名)
新年会	1 / 2 6	もてなしや新宿本店で会員同士の親睦を深めた。	40名(会員23名、支援者12名、来賓4名、他1名)
日曜見学会	未実施	令和6年度は、令和7年度の総会の前に実施する計画となっており、令和7年6月15日(日)に実施する。	なし
運営委員会	毎月第三日曜日に実施 (8月を除く)	本会の活動内容の協議・決定、課題整理・解決に向けた協議等。	運営委員、支援者
選挙管理運営委員会	6 / 1 6 3 / 1 6	全国大会東京大会実施年までの運営委員の任期延長、令和7年度以降の選挙について協議。	選挙管理委員、担当支援者

② 会の活性化に向けた取り組み

・しおりの見直し ・選挙のあり方について ・魅力ある交流の場（行事）づくり	令和6年度は、「会の活動の基本となるしおりを見直すことで、会の目的と活動内容を会員間で話し合い、確認する」「会の活動を適正に提供するために、選挙のあり方を話し合い、公正な方法で役員を選出する」「魅力ある行事にするため、会員からの要望を積極的に取り入れ、会員間の交流をより深める場とする」の3点を目標とした。しおりは運営委員会での協議を重ね、更に改正が必要な部分の整理を行った。また、選挙については、不足している運営委員の補充について会員に周知し、結果、1名の新規運営委員が選任された。令和7年度に全国大会が控えており、令和7年度までは現運営委員は継続することを総会で了承を得た。 行事としては交流会では難病について前半学び、後半は学びの振り返り行い、その他趣味や挑戦したいことなど話をした。また参集型での新年会、サークル活動（カラオケ）を再開し、交流の場を広げた。 その他、12/7に地域交流として、NPO法人GreenWork21主催のグリーンワークカレッジに運営委員5名が参加した。
---	--

③ サークルと料理教室

サークル	4つあるサークル活動について、会員の誰もがどの活動への参加も可とする事で、総会で可決。 3/16にカラオケを主とした活動を実施。 23名（会員17名 会員希望者1名 支援者5名）
・料理教室 （年4回）	7/14 メニュー：カレーパン、サラダ、冷製スープ 22名（会員15名 講師2名 支援者2名 ボランティア3名）
	10/27 メニュー：松茸ご飯、すまし汁、筑前煮、玉子焼き 24名（会員16名 講師2名 支援者2名 ボランティア4名）
	12/1 メニュー：手打ちそば、てんぷら、だし巻き玉子 24名（会員17名 講師2名 支援者1名 ボランティア4名）

	3 / 2 メニュー：ちらし寿司、いちご大福、すまし汁 23名（会員16名 講師2名 支援者2名 ボランティア3名）
--	--

④ 各種委員会・協議会等への参加

内容	実施日	出席者
東京都施策推進協議会（総会、専門部会）	1 / 2 8	松尾章司
東京都障害者差別解消支援地域協議会	8 / 2 6 【部会】 1 1 / 2 9、1 / 2 3	古川和美
東京都ピアサポート研修	8 / 2 6、9 / 6、9 / 2 0、 1 / 2 0、2 / 1 4	松尾章司
関東甲信越ブロック大会（新潟県）	9 / 2 8	松尾章司 楠 智之
全育連全国大会（秋田県）	1 0 / 1 2 ~ 1 0 / 1 3	松尾章司 酒井治雄 中村真一 福井彩良
日本弁護士連合会シンポジウム	4 / 2 3	松尾章司
東京都との対話集会	6 / 1 7、6 / 1 8	松尾章司 酒井治雄

⑤ 2025年全国育成会連合会全国大会（東京大会）に向けた準備

運営委員会の開催日と合わせて実行委員会を開催し、大会当日の分科会や交流会、観光コース開催について検討を行った。

⑥ 障害者差別解消支援地域連絡協議会部会より啓発活動チラシ作成協力依頼

12月15日（日）に東京都差別解消地域連絡協議会の担当者が運営委員会で啓発活動チラシ作成について経緯を含めた説明があり、チラシ（案）を基に、当事者意見を聞き取った。当事者意見は、1月23日の部会で共有された。

⑦ 全国手をつなぐ育成会連合会関連

知的障害のある当事者が、公的な会議（東京都施策推進協議会及び、東京都障害者差別解消支援地域協議会）に参加するときに、必要なサポートについての聞き取り調査に協力した。また、機関誌手をつなぐに、意見発表や「私たちも言いたい」に原稿を寄稿した。

9. 東京都育成会権利擁護支援センター（重点目標の（3））

（1）支援の実施体制

運営 委員	佐藤彰一、立原麻里子、仁田坂和夫、佐々木桃子、齊藤一紀 中野敏子（所長）、田邊裕子、塩谷菜美	
専門 委員	上原裕之、上山浩司、遠藤英嗣、大輪典子、小野由美子、佐藤彰一（運営委員と兼務）信太 貢、関哉直人、田中正博、田邊仁重、西村周治、橋本大彦、平澤千鶴子、山中將利、湯汲英史、渡邊一郎、（16名）	
会議	運営会議	4／20、6／20、10／17、12／16 全4回 オンライン会議システムの活用および参集にて開催した。
	拡大 運営会議	2／20 出席者：14名 開催方法：オンラインシステム及び参集による 場所：法人事務局 【内容】 ○令和6年度 活動報告 ・手をつなぐあんしん相談 実績報告 他 ○預り金等支援の展開（報告・検討） ○権利擁護支援の今日的な動向について（意見交換） 東京都育成会権利擁護支援センター 設立10年を迎えて ～これからの活動展開の期待～（専門委員による意見交換）

（2）預り金等支援の推進

預り金等支援の推進及び検査体制の構築などにかかる意見交換等を目的とした事業所訪問を以下のように行った。

訪問日	事業所名（訪問の目的）
4月19日	清瀬育成園 ひだまりの里きよせ（預り金等支援の理解）
6月6日	生活支援ホーム世田谷 （預り金等支援の理解）
7月22日	豊島通勤寮（預り金等支援の理解及びキャッシュレス決済の利用についての状況確認）
7月25日	立川通勤寮（預り金等支援の実施に伴う疑問点の整理）
7月29日	大田通勤寮（預り金等支援の理解及びキャッシュレス決済の利用についての状況確認）
9月9日	大田通勤寮（預り金等支援の実施に伴う疑問点の整理及び預り金等の検査体制構築に向けた意見交換）

10月15日	豊島通勤寮（預り金等支援推進委員会への参加）
12月19日	とぶき育成園（預り金等の検査体制構築に向けた実態把握及び意見交換）
12月25日	清瀬育成園ひだまりの里きよせ（預り金等の検査体制構築に向けた実態把握及び意見交換）

預り金等支援を含めた権利擁護支援の理解促進のため、法人内の全職員を対象にした以下のオンデマンド研修を実施。

研修名	権利擁護支援従事者研修
研修媒体	SpecialLearning によるオンデマンド研修（令和7年3月より）
講義名（講師）	この研修のご案内（塩谷菜美）
	権利擁護支援の考え方（佐藤彰一氏）
	意思決定支援の考え方（大輪典子氏）
	成年後見制度について（信太 貢氏）
	成年後見制度以外の制度、仕組みについて（平澤千鶴子氏）
	成年後見人等との対応（上山浩司氏）
	預り金等支援について（塩谷菜美）

法務省が主催する会議によるヒアリング（オンライン）に参加し、社会福祉法人による金銭預かりの仕組みや預り金の支援についての説明を実施。

会議名	法制審議会民法（成年後見等関係）部会 第8回会議（議題：参考人からの意見聴取）
日時	令和6年10月8日（火）

（3）手をつなぐあんしん相談（旧青年期相談）の実施

月曜～金曜日10時～17時 （祭日、年末年始などを除く）	（相談員）田邊裕子・塩谷菜美
相談件数	644件（電話相談642件、面談2件）
相談内容	・話を聞いてほしい 306 件 ・情報を得たい 51 件 ・具体的な状況への相談 277 件 ・具体的な状況について情報を得たい 10 件 ・その他 0 件

(4) インターネットでの情報発信

インターネットプラットフォーム「note」の配信を通じて、権利擁護支援に係る情報発信を実施。

配信日	テーマ
5月17日	「法人がお金を預かる意味」～Vol. 4 預り金等支援規程の策定
7月30日	あしたのために。
9月27日	「法人がお金を預かる意味」～Vol. 5 最終回 預り金等支援規程の公開
12月23日	ゆく年くる年 2024→2025

10. 障害者スポーツ

(1) フットサル大会インクルージョンカップの開催

フットサル大会 (府中スポーツガーデン)	5月18日(土)
	参加人数：106名(手帳保有者：63名、その他：43名)
	チーム数：10チーム スタッフ：6名
	9月21日(土)
	参加人数：136名(手帳保有者：89名、その他：47名)
	チーム数：10チーム スタッフ：6名
	2月1日(土)
	参加人数：136名(手帳保有者：85名、その他：51名)
	チーム数：10チーム スタッフ：6名

(2) 関係団体スポーツ大会への参加と協力

ア. 東京都障害者スポーツ大会	5月12日(土)
	合同開会式(東京体育館メインアリーナ)
	スタッフ：2名
	5月25日(土)
	陸上競技(駒沢オリンピック公園総合運動場)
	スタッフ：16名
	5月26日(日)
	陸上競技(駒沢オリンピック公園総合運動場)
	スタッフ：16名
	ボウリング(東京ポートボウル)

イ. スポーツの集い	スタッフ：1名 10月2日（水）（東京体育館メインアリーナ） ※リモートと参集のハイブリットで開催
ウ. 全国障害者 スポーツ大会	スタッフ：35名 10月26日～28日（佐賀県）

		運営状況	実施事業	事業所名	施設長（副施設長）	支援係長・主任支援員
中央区	1	指定管理	施設入所支援 短期入所 生活介護 就労移行支援 就労継続支援A・B型 日中一時支援 指定特定相談支援 指定障害児相談支援	中央区立知的障害者生活支援施設 レインボーハウス明石	田村 克彦 (副)三枝 正規	泉 裕 藤井 光夫 松崎 由子
	2	指定管理	共同生活援助	中央区立知的障害者グループホーム フレンドハウス京橋	田村 克彦	
	3	委託事業	放課後等デイサービス 指定障害児相談支援 きょうだい児一時預かり事業	中央区立子ども発達支援センター 放課後等デイサービス	田村 克彦	大宅 一克 (管理者)
	4	委託事業	基幹相談支援センター 指定特定相談支援センター	中央区立福祉センター 基幹相談支援センター		鈴木 崇弘 (管理者)
	5	指定管理	生活介護 短期入所 日中一時支援	新宿区立新宿生活実習所	平田 佳伸	栢木 良典
	6	指定管理	就労継続支援B型 生活介護	新宿区立高田馬場福祉作業所	相澤 誠	比嘉 学 礒 博幸
江東区	7	直営事業所	宿泊型自立訓練	江東通勤寮	宮武 勇氣	
		直営事業所	共同生活援助	連携型江東		
	8	指定管理	生活介護 指定特定相談支援	江東区東砂福祉園	小原 誠太郎	加藤 政幸
	9	指定管理	生活介護 就労継続支援B型 指定特定相談支援	江東区第二あすなろ作業所	沢瀬 大介	羽田 祐一郎 佐野 俊貴
大田区	10	直営事業所	宿泊型自立訓練	大田通勤寮	塩澤 美津男	
		直営事業所	共同生活援助	連携型大田		
	11	指定管理	就労継続支援B型 指定特定相談支援	大田区立くすのき園	森山 康之	武田 康孝
	12	指定管理	就労継続支援B型 指定特定相談支援	大田区立うめのき園	平林 一長	小倉 靖弘 西條 大樹
			就労継続支援B型	大田区立うめのき園分場		
	13	指定管理	生活介護 指定特定相談支援	大田区立久が原福祉園	林 延江	係長：宮園 隆 小菅 康浩 竹下 聡
	14	指定管理	生活介護 指定特定相談支援	大田区立南六郷福祉園	久保田 美幸	係長：大井 真美 山浦 哲 原 英次
	15	委託事業	指定特定相談支援 指定一般相談支援 障害者相談支援事業 基幹相談センター 大田区障害者虐待防止センター	大田区立障がい者総合サポートセンター（さぼーとびあ）	神作 彩子 (副)安齋 将人	名倉 壮郎 小池 優子 前田 斉 徳田 睦実
			身体障害者B型センター 点字図書館			
			就労移行支援 就労定着支援			
			自立訓練(機能訓練) 自立訓練(生活訓練)			
世田谷区	16	指定管理	生活介護	世田谷区立奥沢福祉園	長谷川 昌弘	中川 二郎（代行）
		自主事業	緊急時一時保護 (宿泊)事業			
	17	指定管理	生活介護	世田谷区立桜上水福祉園	岡 いづみ	高橋 千尋
		自主事業	緊急時一時保護(宿泊)事業			
	18	指定管理	生活介護	世田谷区立給田福祉園	富金原 浩樹	小野塚 亜紀
		自主事業	緊急時一時保護(宿泊)事業			
	19	指定管理	就労移行支援 就労継続支援B型 就労定着支援	世田谷区立砧工房	菊地 洋充	田中 正則 福田 公人
		自主事業	緊急時一時保護(宿泊)事業			
		指定管理	就労移行支援 就労定着支援	世田谷区立砧工房分場 キタミ・クリーンファーム		

		運営状況	実施事業	事業所名	施設長（副施設長）	支援係長・主任支援員
世田谷区	20	指定管理	就労移行支援 就労定着支援	世田谷区立障害者就労支援センター すきっぷ	西村 周治	係長：多田 あい 水谷 紗弓
		自主事業	緊急時一時保護 (宿泊)事業			
		指定管理	世田谷区障害者就労支援事業	世田谷区障害者就労支援センター すきっぷ就労相談室		牧嶋 滋 （就労相談室長）
		委託事業	世田谷区障害者就労支援事業	すきっぷ分室クローバー		
				すきっぷ分室そしがや		
21	直営事業所	指定特定相談支援 指定一般相談支援 指定障害児相談支援	まつばらけやき相談支援センター	西村 周治	鈴木 雄介 (管理者)	
22	直営事業所	共同生活援助 短期入所 日中一時支援	生活支援ホーム世田谷 グループホームえにし	沼倉 浩之	吉川 弘子 小島 唯	
中野区	23	指定管理	生活介護 東京都重症心身障害児(者)通所 事業 指定特定相談支援	中野区立かみさぎこぶし園 かみさぎこぶし園障害者相談支援事業所	下田 一紀	成田 峰大
	24	指定管理	生活介護 東京都重症心身障害児(者)通所 事業 自立訓練(機能訓練) 指定特定相談支援	中野区障害者福祉会館 障害者福祉会館障害者相談支援事業所	石川 智子	安西 孝喜
		委託事業	公益事業会館運営			荒木 智弘
杉並区	25	直営事業所	施設入所支援 生活介護 自立訓練(生活訓練) 就労移行支援 短期入所	杉並育成園すだちの里すぎなみ	小林 哲 (副)二宮 史子	係長：新居 慶太 小野 能広 菊地 大介 笛木 由美
		委託事業	緊急時対応ショート事業			
		直営事業所	生活介護	杉並育成園すだちの里すぎなみ 生活介護分場(ゆずの森八幡)		
		直営事業所	共同生活援助	グループホームらいむ松庵		
		直営事業所	指定特定相談支援 指定一般相談支援 指定障害児相談支援	杉並障害者 自立生活支援センターすだち		小倉 邦昭 （管理者）
		委託事業	24時間安心サポート事業 余暇・社会参加活動実施事業 障害者グループホーム地域ネット ワーク事業 指定自立生活援助			
		委託事業	障害者相談支援事業 個別避難支援プラン作成支援 代読・代筆サービス		杉並区障害者 地域相談支援センター高円寺 (すまいる高円寺)	
豊島区	26	直営事業所	宿泊型自立訓練	豊島通勤寮	小池 史彦	
	27	指定管理	生活介護 指定特定相談支援	豊島区立駒込生活実習所 相談事業所「ぎゅらりー」	林 信秀	係長：川村 慎二 寺田信洋
	28	指定管理	就労継続支援B型 指定特定相談支援	豊島区立駒込福祉作業所 相談事業所「あとりえ」		山口 裕展
		指定管理	就労移行支援	豊島区立駒込福祉作業所分室 （就労サポート I KEHOON）		藤村 華央（代行）
	29	指定管理	生活介護 重度心身障害者「土曜余暇教室」 指定特定相談支援	豊島区立目白生活実習所 相談事業所「にじ」	菅沼 良勝	係長：藤巻 佳子 岩間 玲菜
			生活介護	豊島区立目白生活実習所分室ぷらす		池尻 暁
	30	指定管理	生活介護 就労継続支援B型 指定特定相談支援	豊島区立目白福祉作業所 相談事業所「ひだまり」		小野塚 直也
31	直営事業所	共同生活援助 短期入所 指定特定相談支援 指定一般相談支援 視程障害児相談支援 地域生活支援拠点コーディネート 事業	n i i m a	上原 直哉	辻 一志	
北区	32	指定管理	就労継続支援B型	北区立たばた福祉作業所	北村 信	栗原 直史
	33	指定管理	生活介護 指定特定相談支援	北区立若葉福祉園 相談支援事業所「ぴーす」	伊藤寿浩	前田 竜太 立花 祐介
	34	指定管理	生活介護 指定特定相談支援	北区立あすなろ福祉園 相談支援事業所「フレンズ」	土井 敏子	藤村 慶一 林 俊男

		運営状況	実施事業	事業所名	施設長（副施設長）	支援係長・主任支援員
練馬区	35	指定管理	生活介護	練馬区立貫井福祉園	西村 啓介	安藤 幹朗
		指定管理	就労移行支援 就労定着支援	練馬区立貫井福祉工房		門倉 歩
		指定管理	地域活動集会室	練馬区立貫井活動交流室		
	36	指定管理	生活介護 東京都重症心身障害児(者)通所事業 日中一時支援	Leaves練馬高野台	福田 隆志	越智 淳子 鈴木 裕士
	37	指定管理	生活介護 日中一時支援	練馬区立谷原フレンド	笠原 拓也	木村 君広
		指定管理	放課後児童健全育成事業 子育て支援事業	練馬区立谷原あおぞら学童クラブ		近江 一恵
	38	指定管理	指定特定相談支援 指定一般相談支援 障害者相談支援事業 基幹相談支援センター 地域活動支援センターⅠ型	練馬区立大泉障害者地域生活支援センターさくら	徳武 五月	桶本 篤史
足立区	39	指定管理	生活介護	足立区綾瀬福祉園	高橋 香	中島 真知子
葛飾区	40	直営事業所	生活介護 就労継続支援B型 指定特定相談支援	高砂福祉館	北山 寿紀	坂岸 孝博
		補助事業	身体障害者デイサービス事業(区) 施設地域開放事業(区)			
	41	直営事業所	生活介護 指定特定相談支援	鎌倉福祉館	北山 寿紀	土屋 拓哉
	42	直営事業所	生活介護 就労継続支援B型 短期入所 指定特定相談支援	西水元福祉館	山崎 裕美子	坂本 真子
江戸川区	43	指定管理	生活介護 短期入所 共同生活援助 指定特定相談支援 指定障害児相談支援 障害者相談支援事業 地域活動支援センターⅡ型・日中一時支援	江戸川区立障害者支援ハウス	寺山 菜穂子 (副) 染谷 樹憲	係長：畑田 茜 星野 哲也 鈴木 賢治 渡辺 美恵子 津田 知倫
	44	指定管理	生活介護 指定特定相談支援 指定障害児相談支援	江戸川区立みんなの家	門田 洋幸	係長：遠藤 裕子 金親 俊博 近藤祐介
	45	指定管理	生活介護	江戸川区立えがおの家	寺澤 宣通	係長：大籠 深 吉田 誠 油谷愛美
	46	指定管理	生活介護	江戸川区立さくらの家	熊 智之	清原 博 齋藤 翔
	47	指定管理	生活介護 就労継続支援B型 指定特定相談支援 指定障害児相談支援 グループホーム統括コーディネーター事業	江戸川区立希望の家	岡田 竹之 (副) 安藤 潤	係長：稲毛 信人 海上 隆司 森田 友哉 高田 和美 佐藤 香織
					グループホーム 統括コーディネーター 齊木 博	
八王子市	48	直営事業所	施設入所支援 生活介護 短期入所	とぶき育成園	根岸 京 (副) 山田 幸人	菅佐原 真千子 原島 典子 寺村 義孝 金子 誠
		直営事業所	共同生活援助	ケアホーム横		西村 和海
				グループホーム椰		
	49	直営事業所	施設入所支援 生活介護 短期入所	恩方育成園	緑川 眞 (副) 村上 心悟	門倉 志保 高橋 麻里 吉田 雅信 加地大輔
立川市	50	直営事業所	宿泊型自立訓練	立川通勤寮	本田 友則	
		直営事業所	共同生活援助	グループホーム地域未来塾		
清瀬市	51	直営事業所	施設入所支援 生活介護 就労継続支援B型 短期入所 清瀬市地域生活支援拠点事業	清瀬育成園ひだまりの里きよせ	齋藤 靖之 (副) 赤川 剛	係長：藤田 修司 岩上 正憲 御木 あかり 寺田 昌洋 安部 学
			指定特定相談支援 指定一般相談支援 指定障害児相談支援 自立生活援助	相談支援センターひだまり	齋藤 靖之 (管理者)	常安 彬子

52	委託事業	東京ジョブコーチ職場定着支援事業	東京ジョブコーチ支援センター	石井 真由美	
----	------	------------------	----------------	--------	--

地域生活支援センター

	運営状況	実施事業	事業所名	センター長	主任支援ワーカー
53			地域生活支援統括センター	牧野 隆行 (統括センター長)	
54	直営事業所	共同生活援助	城東地域生活支援センター	浅野 和範	柴山 健一
55	直営事業所	共同生活援助 短期入所	城南地域生活支援センター	朝熊 貴史	山口 剛 小宮 寿広
56	直営事業所	共同生活援助	城北地域生活支援センター	紀伊 良彦	久徳 博超
57	直営事業所	共同生活援助	多摩地域生活支援センター	荒木 一彦	松見 光 平林 直樹 (八王子分場)
58	直営事業所	共同生活援助	多摩地域生活支援センター八王子分場		